

～もうすぐ1年生～



ぞうぐみさんはもうすぐ1年生。子どもたちは、胸いっぱい期待を膨らませていることと思います。保育園生活をたっぷり楽しみ、友だちと共に生活をし、時にはケンカし、悔しい思いをしたり、友だちの気持ちを感じとり、仲直りする喜び、人として生きる土台を築いてきた子どもたちです。

先日の「ぼくたちわたしたちの生活を見てもらう会」の劇の取り組みでは、みんなで話し合い、考えあいながら“ブレーメンの音楽隊”の劇を作り上げて来ました。劇を取り組み出した頃は恥ずかしいし、自信なさげでしたが、本番では恥ずかしい思いも乗り越え、見事に自信たっぷりに堂々と劇を演じていた子どもたちでした。様々な葛藤をくぐり抜け、みんなで力を合わせて一つのものを作っていく楽しさ、一緒に達成した嬉しさを心に刻んできたと思います。にいなちゃんは、劇の絵を描き「きんちょうしたけど、みんなとちからをあわせてやってみたらできた」という素敵な表現をしてくれました。

劇を観た感想の中で、「共に支え合い、成長し、喜び合える仲間に出会えたことを、うれしく思いました」という言葉もいただき嬉しく思っている職員たちです。

ぞうぐみの子どもたちは今、“ちびっこ先生”になって、小さいクラスに出かけて行ってお昼寝後のお手伝いをしたり、一緒に遊んだりしながら、小さい子たちと共に関わっています。保育園の中で誰かのために力を出し、頼られる、そんな経験も広げています。あてにされて、認められながら、自信と誇りを身に付けながら大きくなりました。

これから先、いろいろなことがあって落ち込むこともあると思いますが大丈夫。どんぐりっ子たちは、どんぐりで培った生活力、考える力、人と共に力を合わせてやっていく確かな力をしっかり持っています。

ぞうぐみさん、学校に行っても、友だちとたくさん遊び、ちょっぴり勉強し、命を大切に、そして、お家のお手伝いもやって、毎日元気にすごしてください。

ぞうぐみさん、卒園そして小学1年生、おめでとう！



これからもあたたかいどんぐり保育園を みんなで作って行きましょう！

4月から、同じ千種区内に兄弟園の“ののかぜ保育園”が誕生します。それに伴う人事異動で、どんぐり保育園の体制が変わります。2月1日の「ののかぜ保育園開園に伴う人事異動説明会」には多くの方に参加いただきありがとうございました。この説明会の場で、保護者の方から「父母たちにできることはありますか？」という質問が出され、こうしたあたたかい意見を頂けたことがとても嬉しかったです。「父母も一緒になってどんぐり保育園を支えて行くよ」という思いが伝わって来ました。

いつの時代にあっても、子どもたちのために、そして保育園のために労を惜しまない父母の皆さんの力があり、いまのどんぐり保育園があります。

自分の子のことだけではなく、すべての子どもたちのことを職員と共に考えてくれる、保育園に働く保育者のことを考えてくれる、保育園運営のことも共に考えてくれる、そんな暖かい父母集団があることがとても嬉しいですし、誇りです。これからも、この伝統を守り、次の世代に引き継いでいってください。

また、どんぐり保育園が大切にしている「平和、いのち、人権」を守る理念も次の世代へとつなげて行って欲しいと考えています。